

新 生

平成三十年十二月十日印刷
平成三十年十二月二十日発行

新生第七十巻 第四号



東北新生園入所者自治会

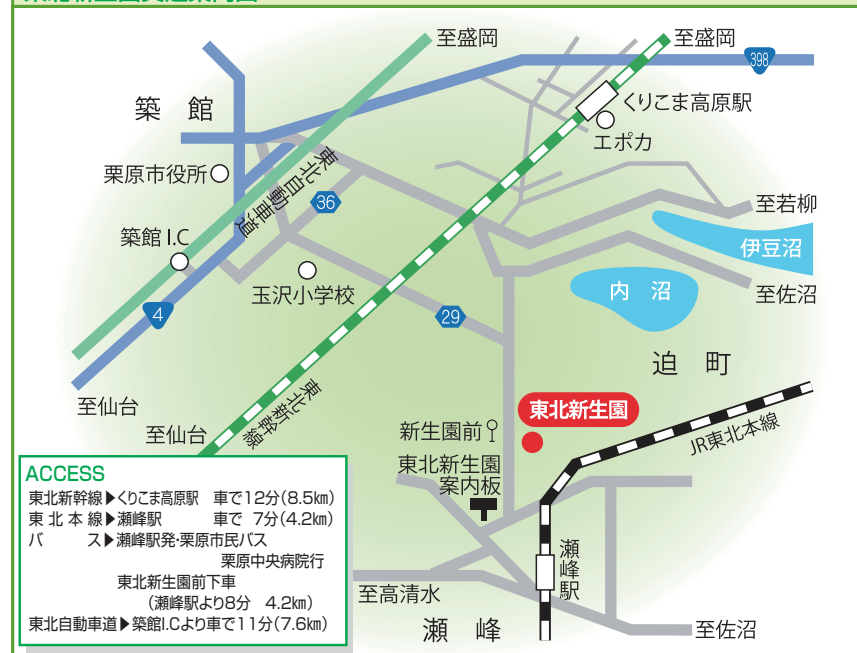
新
生

平成三十年十二月十日印刷
平成三十年十二月二十日発行

東北新生園の概況

所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
土地面積	351,291㎡
建物延面積	25,280㎡
開園	昭和14年10月27日
医療法承認病床	244床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男25名 女37名 計62名
職員定員数	150名（平成30年4月1日現在）
園長	医学博士 横田 隆

東北新生園交通案内図



第七十巻第四号

平成30年度 祝 敬老の集い ティーナ・カーリーナひとり昭和歌謡祭 — 平成30年9月19日 —



園内日誌

平成三十年 七月～九月

《七月》

二十一日 第二十回夏祭り・花火大会
二十四日 岩手県慰問
二十六日 福島県慰問

《八月》

十五日 お盆行事（抽選会）

《九月》

三日 秋田県慰問
七日 楓会発会七十二周年記念 物故者慰霊祭
十九日 敬老の集い
ティーナ・カーリーナ「ひとり昭和歌謡祭」
第二十回寛仁親王妃杯女子
コスモスゲートボール大会
(二十五チーム参加)

【謝寄贈図書欄】

平成三十年七月～九月（敬称略）

多	磨	岡山県	邑久光明園	高	原	群馬県	栗生楽泉園	菊	池	熊本県	菊池恵楓園	愛	生	岡山県	長島愛生園	青	松	香川県	大島青松園	始	良	鹿児島県	星塚敬愛園	甲	田	裾	青森県	松丘保養園
---	---	-----	-------	---	---	-----	-------	---	---	-----	-------	---	---	-----	-------	---	---	-----	-------	---	---	------	-------	---	---	---	-----	-------

平成30年12月10日 印刷
平成30年12月20日 発行

発 行 東北新生園楓会(自治会)
編 集 楓 会 文 化 部
印 刷 川 内 印 刷 株 式 会 社

〒989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
発行所 東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600



新生・第七十巻第四号……………目次

表紙…「秋の風景（紅葉）」

はじめまして……………	看護師……………佐藤優子……………（2）
よろしく願います……………	看護師……………金野恒敏……………（4）
はじめまして……………	事務助手……………高橋真由……………（7）
随筆「老母と娘」……………	……………今野きよし……………（9）

|| 新生文芸 ||

短歌……………	選者……………皆川二郎……………（12）
俳句……………	選者……………山田桃晃……………（14）
川柳……………	選者……………栗石隆子……………（16）
よろしく願致します……………	看護助手……………杵淵和枝……………（18）
ご挨拶……………	看護助手……………大場達也……………（20）
宜しく願います……………	看護助手……………沼倉弘子……………（22）
四コマ漫画……………	……………原んが作……………（24）
園内日誌・謝寄贈図書……………	……………まが作……………（24）

はじめまして

看護師 佐藤 優子

はじめまして。昨年十月から第一病棟で勤務させていただいています。よろしくお願い致します。

私の生まれは埼玉県志木市です。両親の仕事の都合でその後二回引っ越しをしており、十一歳からは岩手県一関市で過ごしました。

小学校は二回転校することとなり、そのたび友達と離れ悲しい思いをしました。

高校卒業後は青森県弘前市の学校へ進みました。桜で有名な弘前公園が近く、お花見の季節には何度も公園へ行き、時々授業をさぼって友達と桜の下で寝ていたこともありま

夜になると公園はライトアップされ一段と幻想的な風景になります。冬は大変寒くちょうど私の国家試験前は吹雪が続いていました。食料が底をつき、何とか買いたたてた日は、気温がマイナス十五℃だったため鼻の中が凍るぐらいでした。卒業後は行く機会がないのですが、桜の季節や冬になるといつも思

い出す風景です。

看護師としては、県内の女川町の病院に新人として勤務しました。当時は病院のある高台から見える海の風景や、磯の香りが印象的で終着駅らしい風情のあるところでした。病棟の食堂からは海が一望でき、患者さんと一緒に見ることができた初日の出は、素晴らしいものでした。震災の時にはすでに仙台で働いていました。海に近くても高台にあった病院の高さまで津波がきたことを知った時に、改めて震災の大きさを実感しました。復興で女川の町はすっかりおしゃれになり、足を運

ぶたびに変わっていく街の様子や地域おこしの様子を見るとうれしく思います。

その後、仙台市内で肢体不自由児施設や精神科で勤務し、結婚後もしばらく仙台で主人や子供二人と暮らしていましたが、農家を継ぐために栗原市内の主人の実家に入り、地元

の病院で数年勤務したあと、昨年より新生園でお世話になっています。

新生園の門の前は何度も通っていたのですが、園内がこんなに広く施設がきれいであったことに驚きました。今回ご縁があつて新生園でお世話になっていますが、ハンセン病の方のこれまでの社会背景や疾患やケアの知識など、勉強不足なところがたくさんあり、スタッフの諸先輩方や入所者の方から教えて頂いているところです。入所者の方にどう受け入れてもらえるかが一番の入職前の不安でしたが、本当に優しく教えて頂きありがとうございます。病棟の中でも、入所者の方のケア

をしたあとベテランのスタッフと入所者の方とで「ありがとう」ってお互いに伝え合う雰囲気がとても素敵だと思いました。私が普段の生活でこんなに「ありがとう」って言わないことを反省しました。言葉は良くも悪くも印象に残るため、感謝の気持ちは恥ずかしがらずにどんどん伝えていこうと思いました。

次に家族のことについて触れたいと思います。現在主人と息子二人、祖父母との六人暮らしです。お米の他に野菜も出荷しています。家のお米は大変おいしく私は一番と思っています。そして新鮮な野菜もみずみずしくおいしく、食生活は大変潤っています。息子たちは剣道に打ちこんでおり、練習の送迎は大変ですが試合の追っかけを楽しんでいます。

一日でも早く、そして一つでも入所者の方の何かお手伝いができ、笑顔になることが増えるように頑張っていきます。

どうぞよろしくご指導お願い致します。

よろしく願います

看護師 金野恒敏

昨年四月より第一メーブルケアセンター一、二階でお世話になっております。金野恒敏と申します。昨年四月から六か月間は一階、十月より現在までの九か月間は二階で働かせていただいております。どうぞよろしくお願い致します。

私の出身は岩手県一関市です。一関市の中でも一番東に位置する室根町という、宮城県気仙沼市の隣に位置する所で生まれ育ちました。室根山があり自然豊かで緑も多く、空気も澄んでいる所です。夜には月や星がきれいに見え、月のない夜には小さな細かい星まで見え、夏には天の川も見ることが出来ます。時

には流れ星も見えます。そんな月や星が好きな私。子供が三人いるのですが、長女の名前には私の好きな『月』と『星』の文字を入れ、月星（るな）と名前を付けました。次女にも好きな『月』の文字を入れ、月音（かのん）と名前を付けました。三番目の長男にもその文字を入れたいと思いましたが、他にも自分の希望があり、祖母、父、私と、名前に『恒』という文字が三代続いており、そちらを優先に考え『月』と『星』という文字は入れませんでした。子供達が輝いていけるよう育ていきたいと思っております。

私は看護師になる前、約二十年間某電気メーカーに務め、物流から製造、管理、経理など、一つの会社の中でいろいろな経験をしてきました。結婚し、長女が産まれてすぐに上司に出産の報告に行った時の事「おめでとう」ということ言葉の後に「早速だが白井市にある同じ系列の会社へ出向になるから」と言わ

れ、初めて実家を出ての生活をしました。出向してから時々近くの宮城蔵王の山へ夜「月」と「星」の長女と共に星を見に出かけていました。出向してから一年半が経った頃、出向元の会社が、国内の工場集約の為に閉鎖が決まり、関東か東海にある工場へ行くか退職するかという選択をせまられました。

そんな中、母がくも膜下出血になり入院、手術を受けました。そこで看護師である妻や姉が母にいろいろなケアをしているのを私はただ見ていただけで、何もできない自分もどかしくなりました。学生時代に医療系に進みたいと思っていた事を思い出し、関東、東海へ行くよりも看護の道に進みたいという気持ちが大きくなりました。勤務先の上司にも相談したところ賛成し、妻も協力してくれると話があり、看護の道に進むことを決意し、仙台の学校へ進学しました。

一、二年の講義メインの時は、一関の実家

から車と新幹線で片道二時間半かけて通っていました。三年には仙台を中心とした病院での実習がある為、妻の実家がある仙台市内に住み実習に通いました。学生時代にも苦勞、悩みがありました。そんな時、同じクラスに社会人を経験してきた二十代から五十代の男子学生四人がいて、助け、励まし合い、私を含め五人全員が看護師になる事が出来ました。この仲間とは今でも年一回は集まり、その時の苦勞話や近状を話したりしております。今年二月に、十歳になった長女の学校で、二分の一人式があり夫婦で出席しました。この式では子供達が将来になりたい事の発表の場でした。子供達はいろいろな職業を発表している中、私の長女の番になり「お父さんとお母さんと同じ看護師になりたい」と発表しました。その時私は胸が熱くなり、嬉しい気持ちになったのと同時に、看護という人の命に携わる大変さをどう伝えるか頭をよぎり

ました。子供達は自分達を見ているという事に気づきました。子供達が成長する為にも自分達の成長が大切であり、人として、看護師として成長し、子供達共々成長していきたいと思いました。

ここまで長々と自分の事について書いてきました。皆様にはご迷惑をかけておりますが、一日も早く一人前の支援ができるようにしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

第20回 寛仁親王妃杯女子コスモス ゲートボール大会



選手宣誓
昨年優勝 岩手みちのくチーム



今回優勝 一迫真坂チーム

はじめまして

事務助手 高橋 真由

平成二十九年四月一日より本館の庶務課補給係として勤務しております高橋真由と申します。よろしくお願い致します。

私は仙台市出身です。仙台市といっても東の端の方で、家の周りは見渡す限り田んぼ、子供の頃は蛭がいたりとてもものんびりとした場所でした。ですが、商店がコンビニになっていき、田んぼを東西に分ける様に高速道路ができました。そしてとうとう地下鉄の駅ができ、商業施設ができ、一面の田んぼがおしゃれな住宅地となりました。

今は大崎市古川に住んでいるので、定期的に両親に会いに行っていますが、気が付くと付近の建物が変わっていて驚いてしまいます。

九州に住んでいる叔母が来ると、「顔を出すたびに変わってしまったもう昔の面影はないわね。」と言いながら、父との昔話に花を咲かせています。

休みの日は、家でジツとしていられない性分なので、子供を連れて車を走らせます。

春は桜を探してあちこち回ります。松島の観光地から少し離れたところに車で通れる桜並木があります。偶然通りかかったのですが桜の時期は一方通行になっているようで、車でもゆっくり花を堪能しながら走ることが出来るので、お気に入りの場所になりました。

今年の夏は友達から評判を聞いていて、前からずつと行きたかった川遊びに行ってきました。流れが穏やかで、水がきれい川底まで見えると聞いていたので、小さい網を用意しました。子供でも、おたまじゃくしやメダカのような小さい魚を捕まえることが出来ました。

秋にはキャンプに行きます！と言いながら

も初心者で、今年はまだ天気と休みが合わなくて行けていないのですが。きつかけは、四年前いとこ家族に誘われて行ったキャンプ。そのときに魅了されてしまいました。初めの数回は、一緒に行った時はいとこの道具を全部借りていましたが、とうとうテントを買ってしまいました。自分のテントを買ってしまくと、次は寝袋。あと椅子も欲しいなあとキャンプ欲が止まらなくなっていました。一通りの道具は揃ってしまいました。いつものお肉を焼いて外で食べるだけなのに、なんだか美味しく感じられます。テントで寝るよりも、畳の上に布団を敷いて寝る方が絶対快適なのに、子供から寝袋で寝たいってリクエストされることあります。寝袋だけでは飽き足らず、テントまで家の中に広げてその中でも遊んでいきます。そういうときは、片付けもきっちり、しっかりやっています。

冬は、雪道が不安なのでこたつでゴロゴロ

してしまいます。去年こたつを買ってしまったので、快適すぎて家から出られなくなりました。雪が降ればソリを持って、出かけていたのですが、最近はお子を送り出してお風呂の準備をして待機しております。

さて、東北新生園で働くようになってから、一年が過ぎました。観桜会・夏祭りなど多くの行事があり、参加させて頂きました。特に印象に残っているのは学会で、二日間のお手伝いは新生園にいたからこそ貴重な体験となりました。自然いっぱい、のびやかな敷地にある施設と仕事を覚える事に必死でしたが、周りの方々にご指導をいただきながら本当にあっという間に過ぎた一年でした。今でも相談できることや助けて頂けることは、とても恵まれている環境だと感じています。まだまだ分からないことも多いので、ご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

随筆

老母と娘

今野 きよし

A 老母 B 娘

A おはよう居たか、今日は休みか

B はい今日は休みなの、二十九日休みって

言ったでしょう

A ほんだけが、聞いても忘れたや

B お母さんならば、また忘れたふりして、上手なんだから

A あれ今日は、何用あつて来たけな、ええと

B 手に持っている物、野菜でしょう

A 野菜持つて、きたのでしょう

A ほんだ大根と白菜持つて来たの、いつも物忘れてな

A B また忘れたの、野菜持つて来たのでしょう
一昨日も持つてきたの、ずっと前に来た

B ような気がしてな
また始まったずっと前に昨日もずっと前、今日もずっと前、午後もずっと前で

A しょう、今日また来るの

A あと今日は来ない、今会ったばかりだもの、そんなに来たら、笑われるべや

B そんな事気にしてるの、安心した、小さい事に気持ち向くの、良い事だものね

A 些細な事に気持ちが向くの、そんなに良いのか？

B これから気持ち切り替えるから、宜しく頼むから忘れないでな

B 頼まれても、私には約束できないね
無理な話でしょう、気を付けて見ているから

A 頼んでもだめか、親子であつてもか、困つたなあ、がっかりした

B 何か独り言語ってるの、ブツブツ言っていたね

A 独り言だから、聞こえないふりして、聞こえても

B 私だつてお母さんに習つて似てくるのよ、悪い事も良い事も困つたね、どうすればいいの、お母さんが、そこまで気を付けているなんて、今の今まで知らなかった、やっぱりお母さんは、偉いね

A 何今頃感心しているの、れっきとした看護婦さんが、国家試験に合格した、看護婦さんでしょう、白衣着て颯爽と、歩いているの、見た時は嬉しかった、おれの娘も立派になったなあつて涙がこぼれたそんなに嬉しかったの、それは知らなかった、嬉しい事、私氣がつかなかった、うっかりしてたわ

B うっかりして、貰った方が嬉しいの、疲れてしまうもの

A 親子でも、抜けたところがあつた方が、

A 良いのか、そうでないと、だめか、良くわかった、私はお母さんと、女の親子で良かった、男の親子はぎこちないもの、他人みたいで

A そうばかり、言えないよ、違う人もいるもの

B 皆そうでないんだね、緊密な親子の人も居るもの、失礼になるから一方的に、見ない事だね

A そうだよ、その通りなもの

B お母さん、今日は何用あつて来たの？

A 早く話してよ

B 大根と白菜持ってきたのよ、貴方野菜不足にならないように、持つて来たの

A 野菜食べないと駄目だからね、どこか悪いところないの？

B どこもありません。体は上々よ、この間ね職場で検診あつてね、悪い所ありませんと言われたよ

A それは良かったね、そんな事ばかり言わないで、野菜も食べてよ、今、百歳になる人どんどん増えているけど、あの人達

B は皆、野菜ばかり、食べて育つた人なんだから、海の小魚とか、贅沢なんてしてないはずよ

B そうだね、昔の人達だものね、今の人はないのね、わかった、長生きしている人そうでしょう、野菜食べてよ、頼むからね頼まれてもね、私は兎ではないからね、一昨日持つて来たのもあるし

A 一昨日、おれ来たのか？誰と来たの一人ですか？

B 一人で来ましたよ、大根と白菜持つて冷蔵庫に、入つてあるから、いっぱいあるのそれは知らなかった、不思議なこともあるもんだ、たまげた

A それはそれは、たまげた事もあるもんだねそんなに、笑わないでよ、真面目になつているんだから

B そうでしょうね、一昨日きたと言われても、ピンと来ないのも当たり前でしょうね何だかんだ言つても、家で野菜作っているのに、店で買ってくる人も、いるそう

B だから

B 私は買ったことないね、無いものは買うけれども

A 家に人参牛蒡も、あるけれども、まだ畑にある、掘っていないんだ、そのうち、お父さんが掘つて、くれると思う

B お父さん牛蒡掘り、上手だったね、鍬の使い方、手際良かったね、ちやちや、さあさあと掘つてまっすぐにすると、牛房見えたけね今でも目に見える

A 良く見ていたなあ、おらそこまで見て覚えて屈しない、感心した、記憶ええな、私の娘だ

B 家に帰つて、報告してね、お父さんを喜ばせよ

A そうする、お父さんおれが帰るの、待つているから、首を長くして、前は待たなかったけれども、今日は違う

B 野菜ごちそう様つて、御礼言つてね、くれぐれも言つてね、帰り気を付けてねまた待つているから

短歌

皆川二郎選

◇入選◇

今野 きよし

元氣よく病棟師長「お早う」と朝のあいさつに部屋ごと廻る

【選評】

今回の作品は、全て口語調の新仮名遣いにて表記されており、親しみやすい雰囲気醸し出している。この一首は、園内の明るい情景が見えてくる。病棟師長の思いやりとそれを受けての作品の素直な感覚が伝わってきます。

今野 きよし
二つ三つ痛みありても臥所より出かけて
見たい明るき星を

【選評】

身体はどこかに痛みがあれば、なかなか明るくいられないのが人情である。心身ともに健康であることは万人の希望であるが、せめて気持ちだけでも明るく持っていきたい。この一首は、痛みを幾つか抱えていても、臥していいと思いたいという願望が感じられ、前向きな姿勢に拍手を送りたい。

今野 きよし

病床にありても歌を詠みしとき痛みながらも心弾みぬ

【選評】

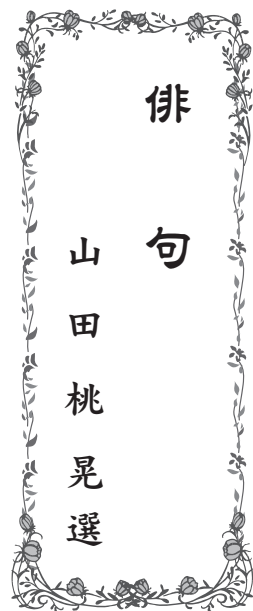
この一首も前作同様に感じられ

◇佳作◇

今野 きよし

「今晚は」と明るい声にニコニコと笑顔みやげに部屋ごと廻る
覗きと言い先生そつと訪ね来て親しき言葉残して帰る
足の傷の痛みも癒えて視力も戻りぼんやり見ゆる桜の青葉





◇ 入 選 ◇

思考力まだ残りおり山眠る 今野 きよし

【選 評】 思考は習慣的な手段では解決されないような事態など精神的な働く力を求められ解決する力。「まだ残りおり」で生きる喜びがあり山の粧いものはなやぎ彩る冬紅葉のよ
うな気力、楽しんで下さい。

夕暮れの色鮮やかなすすきの穂 園 永 泊

【選 評】 中空の茎の中には神霊が宿るといわれるごとく、一面の山野の中に風に揺れ銀色さらに鈍色へと変化していく、荘厳な夕暮の景見事である穂芒。

ハラハラと木の葉無情の風に散り 斎 藤 照 雄

【選 評】 木の葉の散るさまをハラハラと表現した、無情の風に乗っていつこへと散りゆくさまに癒しを感じる、季節の風に生きる力を新たにしたい。

◇ 佳 作 ◇

園 永 泊
暑中見舞日本列島のカルテかな
秋風やどっしり座わる青い空
マスクとるや薔薇の大輪ほほえまれ

今野 きよし
小事にも耳をかたむけ梅の花
一点を見つめて介護リウの花
退院の父との会話重傷の宴

斎 藤 照 雄
紅白に分かれあの日の雪合戦
歌碑へ行く道の一角吹きだまり
木枯らしに首すぼめおり寮の角



川 柳

雫石隆子選

◇ 入 選 ◇

《人位》

百歳を超える歩みが逞しい

桜山南仙

【選 評】

高齢化社会もついに「百歳時代」と言われるようになった。その人生もまさに逞しいものである。さらに希望を言えば健康長寿でありたいものだ。

◇ 佳 作 ◇

長沼蓮花

ボーナス前財布の紐がゆるみだし

寒さ来て山のもみじも頬染める

平成も最後の冬を迎えけり

千 歩

山の声耳を傾け茸採り

深夜明けナースコールが木霊する

雨風に何はともあれ新米実り

今 野 きよし

産声のやさしく届く雛祭り

寝そべって居たいと時あり雛祭り

牡丹雪空に余され逃げて来た

《地位》

木枯らしがおでんに味を付けてゆく

桃生小富士

【選 評】

今やコンビニでは年中「おでん」が売られている。しかし、おでんの美味しい季節は、やはり木枯らしの吹くころ。木枯らしが味付けする、とは言いで得て妙な一句である。

《天位》

ちっぽけな夢を明かりに八氏病道

斎藤照雄

【選 評】

ハンセン病を生き抜いてこられた作者。闘病生活を支えてくれたのは「ちっぽけな夢」だと言う。人生の心意気に感動しながら鑑賞した一句である。ふところ深く夢を抱き、ご長寿を祈りたい。

桜山南仙

石ころの向きを気にする背広です

民主主義十人十色のサンガラス

桃生小富士

一つずつ八十路の坂を登る夢

紅葉散るスポットライト浴びながら

吹く風に悟ったように散る紅葉

斎藤照雄

八氏病の俺は何度もメスに耐え

八氏病道スタコラストコラ俺と影

よろしくお願い致します

看護助手 杵 淵 和 枝

昨年の九月より、第一メーブル三階で看護助手として勤務しております杵淵和枝と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

私の出身は、登米市登米町です。登米町は悠々と流れる北上川が町の中心部に位置し「みやぎの明治村」と称され、西洋風の建築物や重厚な蔵造りの商家といった明治時代を偲ばせる建物が、今でもたくさん現存している町です。

町の観光スポットとして、国の重要文化財指定されている「旧登米高等尋常小学校」は、白いテラスが印象的な校舎で見所の一つとなっています。

城下町ということもあり、町の道路も面白

い形をしています。「鉤形小路」といって、直角に屈曲しており、城下町ならではの攻めてくる敵の移動を遅らせる防備が今でも見受けられます。

今も歴史を置き去りにすることなく、町の変化と共に、歴史も一緒に生きている素晴らしい町です。

私の学生時代は、剣道部に所属していました。仲間と毎日遅くまで練習していたことを今でも懐かしく思い出します。二年間部長を務めながら、沢山のことを学びました。

剣道は、文武両道の精神を鍛え、相手を敬い、礼儀を重んじる教えがあります。「礼に始まり、礼に終わる」や「勝ったら反省、負けたら感謝」という言葉があります。試合に負けると悔しい気持ちでいっぱいになりますが、負けたことで何が今の自分に足りないのかを振り返り、その経験は自分を成長させてくれるという感謝の気持ちにつながります。

ただ相手に勝つことだけに必死になるので

はなく、自分と同じ気持ちで練習を重ねてきた相手に対する尊敬の気持ちを持つて戦う姿勢が大事なのだという、当時の先生の言葉は今でも心に残っています。振り返ればきつい練習の日々ではありましたが、そこから得たものはとても大きいものだったと今では思う所です。

看護助手として入職し、一年が経ちました。介護職に就く以前は、新生園で洗浄の業務に携わっており、配膳車や下膳車の移動の際に、少しばかりですが、入所者の皆様とお会いする機会がありました。

配膳車を運んでいると、入所者の方から、「苦勞さんですね。ありがとうございます。」「重いんだろね。気をつけてね。」などお声をかけていただくことが沢山ありました。何気ない一言ですが、その時の温かい入所者様の笑顔は私にとつてとても嬉しく、何より私自身がとても穏やかな気持ちになるのが分かりました。

そんな中、以前より介護の仕事に興味があったこともあり、入所者の皆様ともつと関わりのもてる仕事がしたいとの気持ちから、募集を目にし、志望したことがきっかけとなりました。

こうして入所者の皆様と接する機会を頂いたことに感謝をしながら、日々過ごしております。

新人の私に対し、温かく迎えてくださった入所者の皆様と、忙しい時でも手を止め、とても親切に分かりやすくご指導くださいました職員の皆様に、心から感謝申し上げます。

まだまだ至らない所ばかりでご迷惑をお掛けすることがありますが、入所者様ひとりひとりに生きてきた歴史があるということに向き合いながら、心に寄り添えるよう、一生懸命努力し学ばせていただきたいと思います。

今後変わらぬご指導のほど、宜しくお願い致します。

ご挨拶

看護助手 大場 達也

平成二十九年十月一日より、ここ東北新生園に勤務しております大場達也と申します。

私の出身は当園と同じく登米市迫町であり、自宅も車で五分程という通勤に恵まれた環境であり、毎日快適に出勤している事に嬉しさを日々感じております。

東北新生園の事は幼い頃から存じており、この広大な敷地は一体どういう所なのだろうと幼心に疑問を持ち、両親にどういった所なのか聞いた事が記憶に残っております。

小学校時代は同級生と敷地内のグラウンドまで入らせて頂き、ラジコンで遊んだ事が今でも楽しい思い出として、自分の心の中にい

はとても大きな不安感に包まれて、足取り重く出勤していた事が思い出されます。

自分自身の性格上、新しい環境に順応する事が不得手であり、毎日が不安と緊張の連続でした。

そんな中で優しく励まして頂いた入所者様のお言葉や、諸先輩方の的確なご指導の甲斐もあり、自分なりにではありますが成長できた一年となり、今では心に余裕を持つて仕事ができる事に對し、自分にかかわって頂いた全ての方々に感謝の念が絶えません。

現在は入所者の皆様と楽しく会話をして過ごす事が、私の仕事をしていく上での原動力であり、嬉しさに繋がっております。

まだまだ力不足で、皆様にはご迷惑をお掛けしている部分が多々ございますが、今後とも宜しくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



つまでも刻まれている宝となっています。

そんな幼少時代を経て、自分が東北新生園で仕事に就く事ができた事にとっても感慨深い思いを抱き、一年が経過した今でもそんな感情がふと沸き上がります。

ここで私の経歴を簡単ではありますがご紹介したいと思います。

高校最後の年、自分の今後の進路を模索していた最中、学校や習い事での恩師や家族よりこれからの将来、介護分野での仕事が大きく重要視され、求められていく社会となるという助言を得て、少しでも自分の力が他の人の役に立てるのであればと考え、仙台の福祉関係の専門学校に進学を決めた次第であります。

専門学校で二年間学んだ後、今に在るまで介護の仕事一本で邁進して参りました。

今回のご縁で新生園という新たな環境で仕事を始めて行こうと決断し、勤務初日の心境

宜しく願ひします

看護助手 沼倉弘子

この度ご縁があり、平成三十年四月十六日より福祉室に配属され、楓会事務所で勤務させて頂いております、沼倉弘子と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

まだお会いしたことのない方、多くいらつしやると思いますので自己紹介させて頂きま

す。
私は栗原市の高清水に義理母と旦那、子供二人の五人で暮らしており、出身はその隣の大崎市古川です。古川は毎年九月には観光名所のひとつに数えられる「羽黒山公園の彼岸花」十五万本が丘一面に咲き誇り、その景色はとても見事で、その時期になると沢山の方が訪れます。

私の育った場所は、町外れの田舎で車もなかなか通ることが少なく、静かで自然豊かな場所です。私は姉二人弟一人の四人姉弟で、幼少の頃はよく外で遊び、木のブランコを作ってもらって遊んだり、また山の中を散策してはアケビや木苺、桑の実を取って食べていたものでした。今でもそんな時期になると懐かしく思い、子供達を連れ実家へ遊びに行きます。子供達もアケビが好きになり、実家に行く度に沢山頂いております。こうして自然の中で育ったのもあり、緑豊かな場所が大好きです。

その為、現在はキャンプにハマり、テントや寝袋、調理器具、テーブルやチェア、ランタンなど一式を揃えるほどです。キャンプは、豊かな自然をボーッと眺めているだけで、どこか心が安らぎとても癒されます。心も体もリフレッシュした後は、子供達とフリスビーをしたり、スケボーをしたりと一緒に体を動かして楽しんでいきます。

私のよく利用するキャンプ場は、宮城県柴田郡川崎町にある国営みちのく杜の湖畔公園（東北地方唯一の国営公園）近くの「エコキャンプみちのく」という所で、とても綺麗に整備されていて温泉もありのキャンプ場です。

チャプチャプ池という池もあり、暑い日は子供達の水遊び場として利用できるので、子連れの家族にも人気のあるキャンプ場になっています。キャンプ利用後は、みちのく杜の湖畔公園が無料で入園できるので、こちらも必ず立ち寄って帰るとするのが定番となっています。

またここ新生園も、自然あふれる広大な敷地と沢山の草花に囲まれ、私の癒しの場所となり日々元気を頂いております。桜や紅梅、白梅、そして池一面に広がる蓮の花、ブルーベリーやリンゴ、柿などの果物もあり、四季折々の風景が楽しみの一つとなりました。

新生園は年間の行事も豊富で、バス旅行やゲートボール大会、花火大会、敬老会と参加

させて頂きました。その中での花火大会は、頭上で上がる花火の大きさと迫力にはとても驚かされ、なかなか近場であげられる事のない花火の美しさに感動しました。

これから年間を通して沢山の行事に参加させて頂く事と思いますが、一日でも早く業務を覚え、会長を初め入所者の皆様に元気を与えられる存在になれるよう、頑張っていきたいと思っております。

最後になりますが、このような自然に恵まれた素晴らしい職場に採用され、入所者の皆様と少しでも関われる機会を頂けた事に感謝しております。

そして、新生園の歴史について日々お話を聴かせて頂ける事は、私にとつて、とても貴重な体験であり、有難い事だと思っています。不慣れで至らない事もあるかと思いますが、皆さんのお役に少しでも立てられるよう努力して参りたいと思っておりますので、今後ともご指導の程、宜しく願ひ致します。

原作・桃生小富士
まんが・北村小蝶



4コマまんが

かさこじぞう



第17回パネル展 屋台まつり
佐藤寛一「寛謡会」民謡公演

平成30年11月1日・2日

